

あかさき

佐世保市立赤崎小学校

文責 校長 鶴田 和久

早いもので後期が始まってから2週間が過ぎようとしています。各学級・学年では、来週の金曜日10月30日に予定しています運動会に向けて、運動会の歌や表現活動の、6年生においては応援の練習など他の学習活動等考慮しながら、無理がないよう準備を進めているところです。

今週になり、寒さが増してきています。腹痛やのどの痛みなど、冬風邪の症状で欠席という体調を崩す子どもが出始めてきています。ご家庭におかれましても、早寝早起き朝ご飯を基本としました、健康管理には十分ご留意いただきますようお願いいたします。

ハートフルウィーク 多数のご参観ありがとうございました

10月15日(木)から21日(水)までの期間で実施しましたハートフルウィーク。コロナウイルス感染拡大防止のために、例年とは異なり、道徳の授業参観を中心としたシンプルな内容で取り組みました。授業参観も一斉ではなく、2日間に分けての実施としました。



そのような取組ではありましたが、赤崎小学校の家庭数は現在253なのですが、授業参観への参観名簿から、のべ292のご家庭が参加されていたことが分かりました。もちろん、中にはお二人でお見えになられたご家庭もあったと思いますので、実質はそれ以上の参観者数だったと思います。今年度初めての参観日ということもあったのですが、赤崎小学校の保護者の皆様の学校に対する関心の高さを改めて感じ、感謝をしているところです。ご多用の中にも関わらず、ありがとうございました。

ただし、密を避ける手立てという面では、不十分さが感じられ、私自身の考えの甘さを反省しています。次の機会におきましては、実施学年、または学級を奇数・偶数に分ける方法などを検討していきたいと考えています。たいへん申し訳ございませんでした。

運動会まで あと1週間

10月23日(金)、今年度、初めての運動会全体練習を行いました。開会式、閉会式の流れと応援練習を行いました。主担当の山口先生からは、「練習の時間が少なく、上手にできないところがあるかもしれないが、最後まで一生懸命に頑張りましょう。そして、その頑張っていることが周りにしっかりと伝わるように行動しましょう。そのためには、どうすればよいかをよく考えましょう。」と練習が始まる前に全体への話がありました。



最初の練習ということもあり、戸惑いながらの部分ではありますが、私語なども少なく、よく頑張っていました。応援練習もそれぞれの団長さんが自分たちのチームをまとめ、盛り上げていこうという気持ちがよく伝わってくるものでした。

赤組 団 長

さん

みんなより先に動いてはきはきと声を出して、赤組をリードします。

紅組のみなさん、みんなで協力し合って今年の運動会を成功させましょう！

いつもの生活では、あまり見せられない姿をみせることができるように頑張るので、たくさんの方の応援をお願いします。



白組 団 長

さん

白組全体に応援でエールをおくり、優勝に導けるような団長を目指します。

白組のみなさん、最後まであきらめず、みんなで全力を出して優勝を目指しましょう。

家の中ではあまり見れない、がんばっている姿が見れるので、最後まで見てください。



本番まであと1週間。いつもとは違った運動会になりますが、「元気で大きな声と動作」、「きびきびとした行動」、「最後までがんばる」ことをとおして、「協力し合い、きまりを守る、元気で優しい赤崎っ子」というスローガンの達成をめざしてほしいと思います。

ご存じですか？フォートナイト

前回の続きになりますが、安全に取り扱うための基準として

お小遣いなど、自分のお金の管理ができること
利用に伴い、個人情報考えた言動ができること
テレビを含め、決めた時間を守ることができること
人を傷つけないことばを考えて使うことができること

少なくとも、上記のことをクリアできている必要はあると思われます。そして、「これらのことが普段の生活できちんとできていなかったり、ピンと来ないような状況であったりするのであれば、まだ、使用する準備ができていないといえると思います。使う前に、まず、これらの大切さをしっかりと理解し、勉強することが大切だと思います。

これらのことができないようであるならば、子どもだけで利用させるのは早いと考えられますが、それでも、どうしても利用させたいというのであれば、保護者がいるところで、見ている前で利用するということが必要になってくると思います。

ゲームだけではなく、正しく利用すれば、とても楽しい、そして場合によっては、自分の世界が広がる可能性があるメディア利用。しかし、そこには常に危険が伴っていると考える必要があります。私自身、勉強不足の面があると反省しています。子どもを見守る者同士、情報を共有しながら、子供たちの可能性を少しでもよい方向へ広げられるように力を合わせていきたいと考えています。今後ともご理解、ご支援をお願いいたします。